**第○学年 道徳科学習指導案**

令和○年○月○日（　）○校時

※赤字で書かれているテキストボックスは、提出時には削除する。

○年○組 　計○名

授業者　○○　○○

**１　校内研究テーマ**

・中堅研では「特定課題研究テーマ」とする。

・教職３年目研修の指導案は、「１　校内研究テーマ」を省略してもよい。

**２　主題名**「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」 〔 内容項目 ○　□□□□〕

・原則として、年間指導計画における主題名を記述する。

・授業の内容が概観できるように端的に表す。

例　〔内容項目　B　親切、思いやり〕

**３　教材（資料）名**「　　　　　　　」　出典（　　　　　　　）

**４　主題設定の理由**

　⑴　ねらいとする道徳的価値について

・ねらいや指導内容についての教師の捉え。（学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。）

　⑵　児童（生徒）の実態

・小学校→児童、中学校→生徒観とする。

・⑴に関連する児童生徒のこれまでの学習状況や実態を記述する。

⑶　教材について

・教師の明確な意図、児童生徒の実態をもとに、教材をどのように活用し、どのような学習を行うのかを明らかにする。

**５　本時の指導**

⑴　ねらい

※教師の指導の明確な意図が読み取れるような書き方を推奨する。

（例）「～を考えることをとおして（学習活動）、～に気づき（道徳的価値）、～（道徳性の様相）を育てる（高める）。」

（例）うさぎさんに優しくした後のオオカミの気持ちを考えることで、親切にした時のよさに気づき、身近な人に親切にしようとする心情を育てる。

⑵　ねらいにせまるための工夫・改善

・教材提示　・発問　・ICTの効果的な活用　・書く活動　・表現活動　・説話の工夫　等

⑶　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | ◇主な学習活動 | ◎中心発問　□基本発問　〇補助発問←※小学校→児童、中学校→生徒とする。■予想される児童(生徒)の反応 | ●指導上の留意点☆支援 |
| 導　入　○　分 |  |  |  |
| 展　開　〇　分 |  |  |  |
| 終　末　○　分 |  |  |  |
|

⑷　評価

※児童生徒の学習状況を見取る視点を記述する。

※ねらいを設定して授業に臨むが、そのねらいをゴールとして児童生徒の評価を行わない。

×「親切にした時のよさに気づき、理解することができたか。」×「心情が育ったか。」

⑸　板書計画

※R6 道徳教育パンフレット（令和６年度 沖縄県教育庁 義務教育課）を参照。